

ホームID	ホーム名		法人名			評価日		
2844	エスペランサ南小岩		株式会社フィルケア			H29.2.1		
評価機関	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク					H29.2.22		
<b>評価結果</b>								
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	B	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	B	6.2.4	B	A
1.2.1	A	A	2.3.8	B	非該当	6.2.5	B	A
1.2.2	B	A	2.3.9	A	A	6.2.6	B	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	B
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	B	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	B	6.3.1	A	B
1.4.1	B	B	2.4.3	A	A	6.3.2	B	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	A	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	B	B	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	B	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	B	B	3.1.2	A	A	7.3.1	B	B
1.4.7	B	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	A
1.4.8	B	B	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	A	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	C	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	B	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	B	A	7.4.3	A	A
2.1.2	B	B	4.1.2	A	B	7.4.4	B	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	B
2.2.2	A	A	4.1.4	B	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	B	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	B	4.2.2	B	A	7.5.3	A	B
2.2.5	B	B	5.1.1	C	C	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	B	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	B	A	7.5.6	A	B
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	B	7.6.2	A	A
2.2.11	A	C	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	B	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	A			
2.3.3	B	B	6.1.3	A	A			

## 【評価機関の所見】

### 1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-4-5	施設長は、職員の負担はできるだけ減らしたいとの考え方を持っており、移乗ロボットや配薬カートの導入を検討している。介護記録についても、電子端末を導入し、現在手書きとなっている介護記録の電子化を進めている。また、就業条件の改善に向け、5日以上長期有給休暇の取得を目標にする他、シフト作成時に想定される残業時間を事前に把握し、残業を抑えたシフトを作成する等、職員の負担が少なくなる環境整備に取り組んでいる。
2-4-4	感染症予防の取り組みとして、外からの入館時における手洗い・うがいの励行、職員・外来者の館内マスクの着用を徹底し、病原体の持ち込みを防いでいる。また、職員へは健康管理を怠らないよう指示し、入館時には検温を行い、勤務前に体調の確認を行っている。さらに、ホームの協力提携病院との介護医療連絡会で最新の情報の提供を受ける他、地域連携の活性化を踏まえて、地域の医療機関の医療連携室を定期訪問する等、情報共有を図っている。
4-2-2	アクティビティは、初詣・節分・花見・誕生会・フラワーアレンジメントなどの他、歌・体操・クイズなどの音楽療法コンテンツの入ったカラオケ機器を使用し、毎日実施されている。また、毎日の集団体操、転倒予防のためのころぼん体操・せらぼん体操、週1回の理学療法士による機能訓練を積極的に取り入れ、歩行を目指す日常リハビリを展開している。車椅子利用の入居者が歩行器利用まで回復するなど、自立支援に向け効果もみられている。
6-2-8	入居者の心身状況について家族等への報告として、居室担当が手書き作成する月1回の「お手紙」や必要な都度の電話やメールでの報告がある。また、納涼祭・敬老会など行事の案内を行い、同意をとった入居者のイベントの写真を集めたアルバムを作成し、家族との会話のきっかけの一助としている。ホームは居室が18室であり、一人ひとりの入居者が望む生活を提供できるよう小規模だからこそ築ける入居者と家族との信頼関係構築に努めている。

### 2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
2-2-11	原状回復取扱規程については、入居契約書の「明け渡し及び原状回復」の条文で定義されているが、その内容に原状回復が必要とされる場合の具体的記述はない。その基準は、国土交通省住宅局のガイドラインに従うとなっているが、ガイドラインの内容を管理規程等に明記して、入居者に開示することを検討されたい。入居者の不安を軽減し、退去時のトラブル防止のためにも内容・費用等具体的状況を明記した取扱規程の作成に期待したい。
2-4-1	入居者や家族等からの金品授受については、職員への研修に加え、入居者・家族の出入りが多いエレベーターへのお願ひ掲示や運営懇談会で施設長から伝えるなどして、職員・入居者等へ「お志をいただかない」の考え方の周知を図っている。しかしながら、職員が受け取らざるを得ないケースも考えられ、その際の対応を明記したマニュアル・手順書が必要であり、職員の安心やモラル向上のためにも、標準化した文書の策定が求められる。
5-1-1	おせち料理・ちらし寿司・クリスマスメニューなどの季節メニューの他、松花堂弁当・誕生日メニュー・郷土料理・変わりメニューを提供している。また、パティシエによる目の前でケーキ作り、寿司職人の握り寿司、そば打ち・そば切りの体験、使われている食材の良さを知り、口にすると健康どうつながるか考える素材発見DAY等、実施している。今後は、メニューを選ぶ楽しみを増やすべく、選択食の導入を検討されたい。
7-4-5	ホームでは、ポータブルトイレ・リハビリパンツなど排泄介護用品の選定について支援を行っている。また、介護リーダー・ケアマネ・看護師等多職種が集まり、入居者の身体に合わせるための工夫や用具の見直しの検討も行っているが、記録には残していない。選定に関しては個別性も高く、定期的にフィッティングする必要があるため、経過を記録に残し、検証することで、より入居者にあったものを選定できるため、記録作成に取り組まれたい。